

# 令和5年度 山口コアカレッジ 自己評価表

## 1 教育方針

ITの変化に対応できる専門力を身に付け、社会や職場に貢献できる有為な人材を育てる。

## 2 教育目標

- (1) 資格取得指導を中心軸にした専門教育の充実
- (2) 職業意識の高揚と納得のいく就職の実現
- (3) きめ細かい学習指導と生活指導の徹底
- (4) 生き抜く力と人間関係力をもった芯の強い人材の育成

※ 適切… 4、ほぼ適切… 3、やや適切… 2、不適切… 1

★ 教員・学生 (無印：教員のみ)

## 3 評価項目の達成及び取組状況

### (1) 教育理念・目標

	評価項目	※1～4を入力
★	・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	3.7
	・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.4
★	・学校の理念・目的・育成人材像・特色などが学生・家庭等に周知されているか	3.1
	・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.4

### ① 課題 (明朝体は学生、ゴシック体は教員 以下同じ)

- ・入学時のオリエンテーションで説明はあったが、1年過ぎると、あまり内容を覚えていなかった。
- ・入学時、家庭への説明はあったが、その後も再度周知が必要
- ・多くの資格取得を目標としてがんばっている学生が多くいる中、そうではない学生がいるのが少し残念です。
- ・2の(4)に記載されている「人間関係力をもった芯の強い人材の育成」が気になった。1人だけで行動していてコミュニケーションを取る力が身に付いていない人が多いのではと感じた。

- ・オリエンテーションで学生に説明するが、意識している学生が少ないような気がする
- ・社会経済のニーズや業界のニーズについて、担当者が最新の情報を調査・分析することが必要

### ② 今後の改善方法

- ・「人と話す」という機会を就職した時のためにもう少し取り入れられたらいいと思う。例えば、授業でグループワーク系を増やす、先生との面談を定期的に行うなど。
- ・教育理念を把握できていない学生も多いと思うので年度初めのオリエンテーションで再度伝える。

- ・社会や業界のニーズを幅広く把握する
- ・学校の理念などの家庭への再周知が必要
- ・業界のニーズや県内や地元のニーズ等を卒業生から話を聞く機会があれば良い
- ・担当教員が主軸となり調査や分析を行い、情報を共有し、育成人材像を構想することが望ましい。

### ③ 特記事項

- ・「教育方針、教育目標」が学生や教員の目につく場所に貼ってある

(2) 学校運営

評価項目	※1～4を入力
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.8
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.6
・運営組織や意思決定機能は、有効に機能しているか	3.5
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	3.7
・教務・財務等の組織整備や意思決定システムは整備されているか	3.5
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.6
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.7
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.3

① 課題

- ・ペーパーレスや各業務の効率化を図っているが、効率化できる部分がまだまだたくさんある
- ・教職員間での学生の情報共有
- ・情報システム化による業務の増大化が危惧される。
- ・規定等について、法改正に対応し実態に即したものの改訂が必要である。

② 今後の改善方法

- ・情報システム化による担当者を複数人配置する必要がある。

③ 特記事項

- ・ホームページやInstagram、YouTubeでの発信があり、学校のことがわかりやすくなってきている

(3) 教育活動

	評価項目	※1～4を入力
	・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.8
	・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間が確保されているか	3.8
★	・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.6
	・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.6
★	・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が行われているか	3.4
	・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3.5
★	・成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.9
★	・カリキュラムの中で、資格取得等に関する指導体制が、体系的に位置づけられているか	3.8
	・職員の能力（知識・技能・指導力育成）開発のための研修等が行われているか	3.4

① 課題

- ・受講科目を選べない。
- ・検定対策の時間は積極的に質問できる雰囲気があると思う。
- ・関連分野の企業などの連携はあまり感じられない。
- ・学生は学ぶことが精一杯なので、IT関連の業界知識を授業の一環として教えてほしいと思った。

- ・**学生と社会人とのギャップをいかに埋めていくかが、学生本人にとっては重大なことである。**
- ・**ソフトの共有ルールの徹底とバージョン管理**
- ・**キャリア教育に対する共通認識を広げる**
- ・**一人が受け持つ担当科目過多のため担当教員の専門力に乏しい。**

② 今後の改善方法

- ・選択科目を増やし、科目が選べたら良い。
- ・外部の企業方とコミュニケーションをとる。
- ・授業中にその授業と関連のあるニュースであったり、出来事をまじえてくれると、今を知ることが出来る。

- ・**卒業生の講話があると良い**
- ・**今後は一方的に指示をするのではなく、学生本人が考え、行動するように「背中を少し押す」指導を心がけていく。**
- ・**担当教員の専門力の向上のため、関連しない担当科目の減少や研修機会の増加が必要。**

③ 特記事項

- ・カリキュラムなどは先生方が頑張ってくださっているので、特に改善点は見つかりませんでした。
- ・**特別編成授業の効果が出ている**

(4) 学修成果

	評価項目	※1～4を入力
★	・就職率の向上が図られているか	3.6
★	・資格取得率の向上が図られているか	3.6
	・退学率の低減が図られているか	3.8
	・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.2

① 課題

- ・人によって就職に対する熱量の差がある。
- ・業界研究の時間が少ない。
- ・就活をすごくがんばっている学生と、あまり積極的に取り組んでいない学生がいる。

・卒業生の現状を把握するのが難しく、卒業生の活躍を把握できない時がある。

② 今後の改善方法

- ・就職対策の時間などを活用して、マイナビやリクナビの登録をうながす。
- ・学生OBなどに話をきく機会があるとよい。

・教員室に内定状況の掲示

・学生が個別に、直接卒業生と会話できる機会があると良い。

③ 特記事項

- ・特別時間割(検定試験対策)があることで資格取得率(合格率)が上がっている
- ・卒業後数年経って連絡をしてくる卒業生がいる。在学中にたくさん話したことが繋がっていると感じる
- ・進路指導部による面接練習で、志望動機や自己PRなどの伝え方や改善点を指摘・指導されたことで不安が減った学生がいる
- ・欠席している学生は、欠席等記入ボードを見るとすぐにわかるので、早めに対応できる
- ・休学・退学等については、早めに保護者と連携し、話し合う体制がとられている。
- ・コロナ以降初めて同窓会が開催され、久しぶりに卒業生と話す機会ができ、今の活躍をより把握することができた。

(5) 学生支援

	評価項目	※1～4を入力
★	・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.7
★	・学生相談に関する体制は整備されているか	3.6
★	・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.6
	・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.8
	・学生の学習環境への支援は行われているか	3.7
★	・家庭と適切に連携しているか	3.3
	・卒業生への支援体制はあるか	3.3

① 課題

- ・先生と仲が良いなど、“話しかけやすい”部分がないと担任に相談することは難しいと感じた。就職のことは相談できても、普段の生活や自分の悩みは相談できないと思う。
- ・家庭との連絡。
- ・問題のある学生に、家庭との連携がとれていないのでは。
- ・就職以外の進路への話があまりない。

・世間の就職活動時期がどんどん早くなっているため、本校の就職ガイダンスの時期を再検討する必要がある。

② 今後の改善方法

- ・学生が何をしているのかを家庭に知らせる取り組みをする。
- ・編入など就職以外の進路への相談が出来るようにする。

③ 特記事項

- ・就活のときに、面接練習をはじめ、履歴書の書き方など、先生方が、親身になって教えてくださったおかげで、納得のいく就活、スムーズな就活ができました。ありがとうございました。
- ・家庭への連絡が本当に必要か、疑問がある。成人しているので自己責任でもよいのかと思う。

- ・同窓会があり、卒業生の様子や在学時に学んだことがいかされていることを聞いた
- ・学生1人ひとりと面談を繰り返し、早めの対応をしている
- ・ビジネスデーの実施で、就職活動での服装が整ってきている
- ・スマートデーの実施で、就職内定後に私服での訪問の際の服装相談が減ってきた
- ・出席率で注意が必要な学生には、本人に注意をするとともに保護者にも知らせている
- ・卒業生については、密に連絡するのは難しいと感じている。ただし、卒業生からの相談等があれば対応する体制がある。
- ・進路・就職に関する支援体制は整備されており、成果を上げている。
- ・卒業生が就職相談に来た際には話を聞き、希望があれば求人情報を提供している。

(6) 教育環境

	評価項目	※1～4を入力
★	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.5
★	・学校教育の場として先端技術の導入がある程度なされているか	3.4
★	・防災・侵入者に対する体制は整備されているか	3.1

① 課題

- ・校舎が全体的に古い。
- ・CGなどの大きなデータを扱うとき、動作が遅いのが気になっていた。
- ・一部の授業で最新のバージョンを使用していなかったり、インターネット接続が遅いことがある。
- ・パソコンが古いのがある。
- ・避難経路を知らない人はいると思う。

- ・**機材トラブル対応のための有識者人員が十分に確保されていない。**
- ・**防災訓練を実施していない。**

② 今後の改善方法

- ・校舎の内装を塗装し直す。
- ・高性能パソコンをもう少し増やして、学生が気軽に使えるようにする。
- ・できるかぎり最新のバージョンも使用したり、定期的に調子が悪いPCがないか授業の最後に聞くなど。
- ・避難経路を掲示する。

- ・**全校での防災訓練の実施**
- ・**徐々に基礎的技術による機材管理へと移行する。**

③ 特記事項

- ・最先端の情報技術を取得する実習体制や、設備が整っており、とてもいい環境で学ぶことができたと思います。

- ・**「災害発生時における対応」は、まとめてありわかりやすい。**
- ・**学校内外がいつも掃除されて綺麗になっている**
- ・**来校者は事務室からすぐに確認でき、声掛けを行っている。また、学生の様子もしっかり見守る状態にある。**
- ・**オープンキャンパスで保護者の方から、掃除が行き届いて清潔感のある学校だと評価をいただいた。**

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	※1～4を入力
・学生募集活動は、適正に行われているか	3.8
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.7
・学納金は妥当なものとなっているか	3.8

① 課題

- ・**教育成果のアピール(高校生に本校の良さが伝わっているか?)**
- ・**学生数の減少。**

② 今後の改善方法

- ・**企業や医療機関からの求人票は増えており、内容も充実していることを外部に発信していく。**

③ 特記事項

- ・**公設民営で学費が安いと保護者の方が喜んでおられた。**

(8) 財務

評価項目	※1～4を入力
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.7
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.6
・財務について計画監査が適正に行われているか	3.7
・財務情報公開の体制整備はできているか	3.7

① 課題

- ・**管理職以外は財務を把握できる状況にない。**

② 今後の改善方法

- ・特になし

③ 特記事項

- ・**財政基盤はしっかりしている**

(9) 法令遵守

評価項目	※1～4を入力
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.9
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.7
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.8
・自己評価結果を公開しているか	4.0

① 課題

- ・特になし

② 今後の改善方法

- ・特になし

③ 特記事項

- ・特になし